



# ふれあい

令和元年度8月号 No.4  
発行 門川町教育研究所  
所長 新原とも子  
TEL 63-1566  
五十鈴J学校内(教育相談室)

今日は登校日。夏休みに入り、早くも2週間近くが過ぎました！

今日は登校日です。7月19日(金)の1学期終業式から2週間近く過ぎました。7月は梅雨前線の活動で九州地方を線状降水帯が次々に通過し、各地で大きな災害が発生しました。門川町では大きな災害発生はなかったようですが、大雨警報が出されて学校も繰り上げ下校となりました。8月に入りこれからは台風シーズン到来とも重なって災害発生が懸念されます。いつでも対応できるようにご家庭でも十分な準備を整えておくことが大切です。「ここは大丈夫」は絶対ありません。「いつでもどこでもあり得る」ことです。情報を的確に把握して最悪を想定し、「自分の身は自分で守る」早目の行動！に心がけましょう。

## 地震・津波対策は大丈夫ですか?! ~ (門川町ハザードマップから引用)



5月10日に日向灘を震源とするM6.3の地震(最大震度5弱)が起こり、その後も余震が相次ぎましたが、11日には同じく日向灘でM4.9(延岡市で震度4)の地震がありました。幸い津波の発生はありませんでした。当時の宮日新聞で宮崎大の原田名誉教授は日向灘が本格的な活動期に入った兆候との見解を示しています。あれから2ヶ月ちょっと過ぎており、もう頭の片隅にも残っていないという人はいませんか?今のあなたの備えは大丈夫ですか?過去に門川町で観測された津波の記録がありましたので、下に掲載しました。(地震の規模を示すマグニチュードMにも注意してみてください。)

門川町に被害を与えたと思われる主な津波の記録は、以下の通りです。

| 年月日                | 名称(マグニチュード)     | 津波の高さ     |
|--------------------|-----------------|-----------|
| 昭和16年(1941年)11月19日 | 日向灘地震(M=7.2)    | 観測高 1.0 m |
| 昭和21年(1946年)12月21日 | 肥前半島南端地震(M=6.0) | 門川高 1.5 m |
| 昭和36年(1961年)2月27日  | 日向灘地震(M=7.0)    | 観測高 0.78m |
| 昭和43年(1968年)4月1日   | 日向灘地震(M=7.5)    | 観測高 1.98m |
| 昭和46年(1970年)7月26日  | 日向灘地震(M=6.7)    | 観測高 0.12m |
| 昭和59年(1984年)8月7日   | 日向灘地震(M=7.1)    | 観測高 0.18m |
| 平成8年(1996年)12月3日   | 日向灘地震(M=6.7)    | 観測高 0.07m |

東この他、海外で起きた地震(チリ地震など)でも津波の被害が起きます。

昭和16年以降の日向灘地震による津波の高さは約1~2mを観測しており、地震の規模はM7~M8でした。



枕元に避難用具。置いていますか?

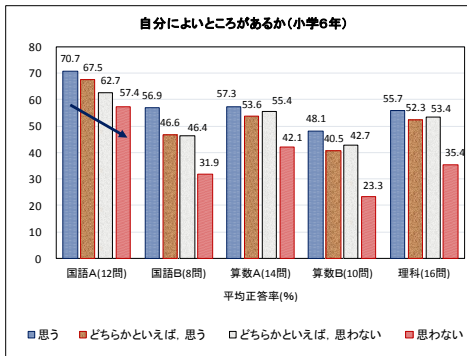
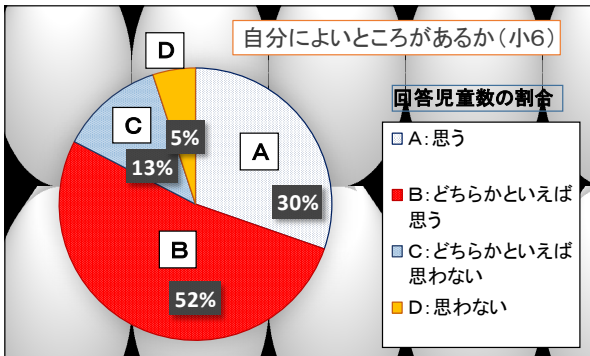
地震はいつ来ても怖いですが、特に夜中となると周囲が見えないので避難行動にも大きな障害となります。夜中に地震!は結構多いのではないかと思います。皆さんはどう感じますか?寝る前、枕元に非常袋やラジオ、照明器具、履物等、緊急避難に最低限必要な物を置いておくことが習慣化していると、いざという時に安心です。

【東日本大震災津波】(フリー写真)

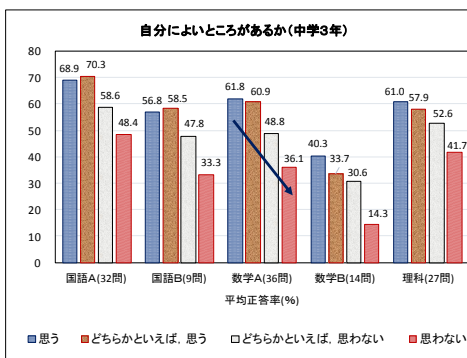
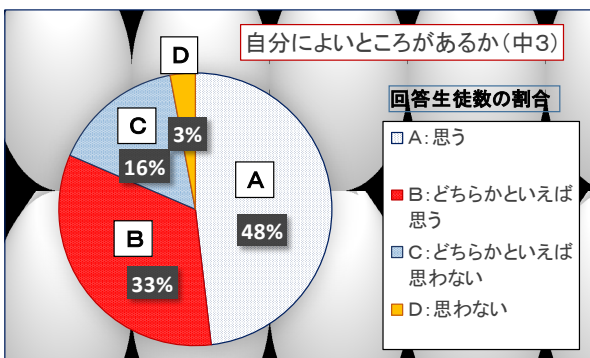


備えあれば憂いなし!

「自分によいところがあると思いますか？」の回答結果と学力の関係は？



グラフは昨年度の全国学力・学習状況調査における門川町児童生徒の回答状況と学力の関係です。小6の82%中3の81%が、自分によいところがあると思っています。学力もしっかりと「思う」ほど高く、【自己肯定感の高さ＝学力の高さ】になっているようです。



本の一節  
心に残った

「誰もが昔は生徒でした。教室で、グラウンドで、先生がくれた言葉に、いま、ありがとう！」ラジオ番組「ありがとう、先生！」のナレーター純名里沙さんのナレーションです。この番組が伝える、生徒に届けられた先生の言葉をまとめた本の一節を紹介します。

〔出典：TOKYO FM 発行「ありがとう、先生！」より〕

「本気」になれるコトバ ～ 勉強するのは、自由を得るため

～なぜ勉強するのか、と授業中に質問したときの言葉です。お金がなければ、したい事をするのも難しくなる。お金を稼ぐためには、仕事に就かなくてはならない。そのために勉強するのです。納得でした。私も子どもにそう教えたいと思います。



子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育研究所「教育相談室」に気軽に電話をしてください。来室相談も受け付けています。

相談電話（門川町教育相談室）  
Tel・Fax 63-1566

～～返信欄（教育研究所便り「ふれあい」へのご意見やご感想をお聞かせください。）～～

